

## たくましき女房

加藤 誓(ちかい)

女房は「3B体操」(全国組織)の講師をしており、この日は我が家から7km先のコミセンで体操教室を終えて、14時頃帰宅した。



玄関で「パンクしちゃった！」と大きな声！

「車は、何処？」「家の駐車場よ。」駐車場に行ってみた。左後のタイヤが完全につぶれていた。

「何処でパンクしたの？」「帰る途中で何かガタガタしたけれどスーパーマーケットまで走ってきて、降りたらパンクしているのに気付いたの。」「えっ！パンクのまま走ってきたの？」  
「それに、食料の買い物をしないと困るので、2軒お店を回ってきたの。」  
確かに玄関先には、野菜、果物や冷凍用袋、ペットボトルなど大量の食品が置いてあった。

私は、開いた口が塞がらない！

「スペアタイヤへの交換をJAFにお願いし、近くの車修理店に行き、後輪2本の交換をお願いしなさい！」「私は恥ずかしいから、全て自分でやってね！」

それから、JAFの連絡先が分からぬ、と私に尋ねるやら、どっか他の所も壊れたのかと心配をし始め、やっと事の重大さに気付いたようだ。

それが解決した5日後、D社の掃除機が部屋に放ってあるのに気付いた。

「掃除機を元の掛けてある場所に片付けたら！」「棒が抜けなくなっちゃったので掃除機が使えないの。」そう言えば、ここしばらく掃除機の音がしない。コロで掃除しているのを見たことがある。

モーターに長い棒を差し込んだ状態で、二人がかりで抜こうとするが、抜けない。「ゴミが捨てられなくなったのと、ゴミのせいで吸い込む力が弱くなつたので放つおいたの。」

「無理やり棒を入れたの？」「少し入りにくかったけれど、掃除しないと困るから力一杯入れたら入って、ゴミが一杯になるまでは、掃除が取りあえずできたの。」

その夜、ひとりで棒を力づくで、ひねり回しやつと抜くことが出来た。

一杯に溜まった綿埃のゴミを捨てることが出来た。

だが、長い棒を再度入れようとすると、やはりスムーズには入らない。

原因を探しまくった結果、モーター部分の、差し込みの溝のポリが潰れ、溝を塞いでいることを見つけた。ポリをドライバーで取り除いたら、力を入れることもなくすと棒が入った。そこで、コロの部分を付けて掃除を試そうとした。

コロが自由に動けるようにゴム製のジャバラが使われているが、なんと、その部分が大きな口を開けている。

これでは、ゴミの吸い込みが悪いはずだ。購入して4年程だが、壊れるのが早いようだ。恐らく掃除の時、急ぐために力を入れたのか？それともD社の掃除機はそれ程でもないのか？

ジャバラの穴をゴムテープで何重にも塞ぎ応急処置を施した。

翌日、修理した掃除機で女房が掃除を始めた。

「あら！吸い込む音が凄い！気持ち良くゴミが吸い込むわ！これなら、力入れなくても大丈夫！」

家事は、大変だ！　たくましい女房に　感謝！感謝！